

事業番号	09 06 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課	
		実施期間	S42 ～	E-mail	noson @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

2020年農林業センサスの結果では、2015年農林業センサスに比べ、基幹的農業従事者が約4分の3になるなど、急速に農業従事者や経営体が減少しているため、以下の対策を講じる必要がある。

- ・意欲ある若い世代の新規就農者や本県の農業生産を支える担い手の育成。
- ・地域農業を担う中核的経営体や農業・農村をけん引するリーダーの育成。
- ・農業・農村を支える多様な人材の呼び込み。

2 事業目的

新規就農者を確保・育成するとともに、参入者・女性農業者など多様な担い手の経営発展の支援を行い、地域農業を担う中核的経営体として育成し、本県農業の生産を支えるとともに、農村コミュニティを維持する。また、農業を志向する者に対して、農業を学ぶ場の提供等を行い、農業・農村に多様な人材を呼び込み・活性化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①新規就農者の確保

- ・就農希望者の定着に向け、市町村・JA等の関係機関が一体となった就農促進活動を実施（10広域）
- ・就農に向けた新規就農里親研修の実施
- ・新規就農者を確保するため、農業の魅力発信力を強化

②中核的経営体の育成及び経営発展支援

- ・地域営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーの育成研修の実施（農業経営士、農業士、農村生活マイスター）
- ・地域農業の担い手や意欲ある経営体への農業機械等の導入支援
- ・女性農業者の能力発揮等による農業の発展のため、地域の女性農業者グループ活動を支援
- ・地域農業の担い手となる親元就農を含む新規就農者の農業機械や施設等の修繕及び導入支援

③多様な担い手確保・育成

- ・農ある暮らしアドバイザーや地域サポーターによる農ある暮らし相談・実践支援に加え、更に農村に人を呼び込む取組を実施
- ・雇用就農者確保のための農業法人向け研修会の開催、雇用就農に関する課題と解決策をまとめた冊子の作成等を実施
- ・外国人材や他産業従事者、農福連携等、多様な雇用人材の確保に向けた新たな体制・仕組みの構築
- ・農業女子による販促活動等の企画・実践への支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	新規就農相談会の参加者数	人	327	318	↘	450	↗	275	達成	新規就農者のうち新規参入者の必要数を確保するための相談会参加者数を目標値として設定。（R3～R4年度の相談者に対する追跡調査結果等から算定）
②	長野県農村生活マイスターの認定者数	人	18	25	↗	27	↗	15	達成	農村の女性リーダーの育成を進めるため、第4期長野県食と農業農村推進計画の達成指標に基づき、毎年15人の認定者を目標値として設定。
③	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	人	650	874	↗	144	↘	300	未達成	農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの回数と受講定員から設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1④	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2023 (R5)	10,288	2024 (R6)	11,282	2025 (R7)	12,194	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2023 (R5)	172	2024 (R6)	191	2025 (R7)	182	2027 (R9)	215

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R7年度	93,702	1,280,421	142,914	1,517,037	132,342	17.9
R6年度	151,178	1,304,989	67,770	1,523,937	134,543	17.9
R5年度	69,919	1,395,464	△ 177,269	1,288,114	113,800	17.9

事業番号	09 06 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業		部局	農政部	課・室	農村振興課

7 主な取組実績と成果

①新規就農者の確保

- ・就農希望者の定着に向け、市町村・ＪＡ等関係機関が一体となった就農促進活動を展開した（10広域）
- ・新規就農希望者のスムーズな就農をサポートするため、新規就農里親研修を実施し、独立就農希望者を支援した（30名）
- ・若年層に農業理解を促すセミナー等を開催した（9校で計13回、合計658名参加）
- ・農業トップランナーの紹介動画や親元就農の促進動画をYouTubeで発信したことや、HP「デジタル農活信州」において、農業の魅力発信を強化した

②中核的経営体の育成及び経営発展支援

- ・地域営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するための研修会を実施した（農業経営士：1回、農業士：2回、農村生活マスター：5回）
- ・中核的経営体の経営発展を図るため、93経営体に対し、農業機械導入や施設整備を支援した。
- ・女性農業者グループが実施する農業文化の伝承のための事業（講演会、事例発表、調理実習等）を支援した。（10地区）

③多様な担い手確保・育成

- ・若手女性農業者が経営発展に向けて、自ら信州農産物等を販売・ＰＲするマルシェの企画・実践への支援を行った（5グループ）
- ・体験農園等のセミナーを5回開催し、53名が参加した。
- ・農ある暮らしの実践に向けた支援（体験会等9回）や、農ある暮らしの魅力について動画作成し、情報を発信した。
- ・農業法人向け研修会（6回）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	新規就農相談会の参加者数	R6年度推移	↓	R7年度推移	↑	達成状況	達成
参加者のニーズに合わせ、対面での就農相談会を実施するとともに、オンラインによる相談会を行うことにより、目標を達成した。							
指標②	長野県農村生活マスターの認定者数	R6年度推移	↑	R7年度推移	↑	達成状況	達成
農業農村支援センターと長野県農村生活マスター協会の連携により、将来の農業委員等を目指す女性農業者の掘り起こしに努めた結果、応募者数が増加し、目標値を上回った。							
指標③	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	R6年度推移	↑	R7年度推移	↓	達成状況	未達成
令和7年度から農ある暮らし相談窓口を新たな体制としており、研修会は開催しているが、イベントに出向く機会が減少し、受講者数の目標を達成できなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・対面・オンラインによる就農相談対応を組み合わせながら積極的な活動を展開することができた。今後も相談者のニーズを捉えながら様々な手法を駆使して相談活動に取り組む必要がある。
- ・各地域におけるリーダー候補者の掘り起こしにより、長野県農村生活マスターの認定者数は増加傾向にある。引き続き既認定会員による推薦や支援センターによる個別訪問などを継続し、リーダー認定者を継続確保することで、地域農業の活性化につなげる必要がある。
- ・農ある暮らしへの関心が高まってきている一方で、専任アドバイザーによる農ある暮らしに特化した相談活動やイベントの更なるPRや、地元の実験農業者、農ある暮らし実践者等による地域に根付いた支援を進める必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・新規就農相談会の参加者数は年度目標を達成し増加傾向にあるが、引き続き新規就農者の確保に向けて市町村、ＪＡ等の関係機関と連携しながら、県内外において対面やオンラインを活用した就農相談会を積極的に開催することにより、将来的な担い手の確保・育成に取り組む。
- ・農業リーダー研修会の開催などにより、信州農業をけん引する人材の育成を継続して支援する。
- ・多様な人材の活躍による農村の振興に向け、農ある暮らしの相談活動やイベント情報のSNS等での情報発信などによる知名度の向上や、熟練農業者や農ある暮らし実践者による「農ある暮らし地域サポーター」の活用を推進していく。

事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	--------------------	----	-----	-----	-------

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	就農サポート事業		689,773 千円	652,848 千円	546,356 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新規就農サポート事業	直接 委託 補助金	県内外の就農希望者を呼び込むため、相談活動やウェブサイトの運営を支援 （補助・委託先：（公社）長野県農業担い手育成基金） 新規就農相談会（年44回開催）		
2	就農促進プロジェクト・研修指導事業	直接 補助金	就農希望者の円滑な就農・定着化を進めるため、市町村・J・A・農業法人等が一体となった就農促進活動や、体験研修受け入れを支援 （補助先：県農業経営者協会、県農業法人協会） 10広域で就農促進活動を実施		
3	新規就農者育成総合対策	補助金	・就農に向けた研修資金、親元就農を含む経営開始時の投資を基本とする経営開始資金を交付 ・農業教育機関（研修機関）における農業教育の高度化、充実のための取組を支援（補助先：市町村、県農業大学校等） 就農準備資金51名対象、経営開始資金等336名対象、合計交付額504,445千円		
4	農業の未来の担い手支援事業	直接	若年層に農業を職業として選択できる環境を整えるため、農業への理解を促す魅力発見セミナーや農家体験研修などを実施 魅力発見セミナー参加生徒数 658名		
5	農業の魅力発信強化事業	委託	農業の魅力アップを図るため、活躍する若手農業者等のインターネット上でのPR及びHP「デジタル農活信州」の機能を強化（農業者の事例紹介） WEB記事の公開（4記事）、HPでの魅力的な農業者5名程度の事例発信		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	農業大学校研修事業費		27,586 千円	20,434 千円	23,350 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新規就農支援	直接	新規参入者が就農するまでの間において、就農への意思決定や就農に必要な基礎知識・生産技術の習得を支援 新規就農里親研修 R7年度新規研修生数30名		
2	農業技術力向上支援	直接	農業機械の安全使用から高度な利用までの各種研修会の実施 研修会 年19回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	農業リーダー育成事業		7,698 千円	8,953 千円	4,751 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業リーダー認定・研修	直接	・地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定・研修等を支援 ・女性農業者の資質向上や活動の活性化を図るため、地域の女性農業者グループの活動や研修会の開催等を支援 農業経営士9名、農業士7名、農村生活マイスター27名を新たに認定		
2	農作業セーフティアップ事業	直接	農作業事故の削減を図るため、事故割合の高い高齢者の安全指導強化や、リスク回避対策の指導を実施 農作業安全運動の実施（春・秋）・農作業安全研修会（1回）・啓発ポスター作成、配布（1,000部）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	経営体育成支援事業		327,699 千円	403,168 千円	392,184 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	融資主体補助型	補助金	地域農業の担い手となる経営体が融資を受け、農業用機械等を導入する際、融資残について補助金を交付 施設・機械導入等の支援1件 補助額3,586千円		
2	構造転換補助型	補助金	経営構造の転換・経営発展を図ろうとする担い手が、農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付 施設・機械導入等の支援4件 補助額22,486千円		
3	条件不利地域補助型	補助金	経営規模が小規模・零細な地域において、意欲ある経営体を育成するため、共同利用機械等の導入について補助金を交付 施設・機械導入等の支援1件 補助額8,769千円		
4	新規就農補助型	補助金	新規就農者の他、親元就農し経営を継承した経営体等を対象に、機械や施設の修繕・導入、果樹の改植等を補助 施設・機械導入等の支援79件 補助額278,990千円		
5	担い手確保補助型	補助金	経営構造の転換・経営発展を図ろうとする担い手が、融資を活用するなどして農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付 施設・機械導入等の支援8件 補助額73,608千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業		567 千円	660 千円	528 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業女子のスキルアップ支援と情報発信	直接 補助金	農業女子の経営発展と農業の魅力発信を図るため、販促活動等の企画・実践への支援、スキルアップセミナーの開催、女性のための就農相談会等を実施 企画・実践への支援 5グループ		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	農ある暮らし応援事業		5,954 千円	6,780 千円	6,395 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農ある暮らし応援事業	直接	・農業未経験者の就農・定着を図るため、引き続きSNS等により情報発信を行うとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会を提供 ・農ある暮らしアドバイザーや地域サポーターによる農ある暮らし相談・実践支援に加え、農村に人を呼び込む取組を実施 農ある暮らし体験研修・セミナーの開催 9回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	農業労働力の安定確保推進事業		2,566 千円	3,461 千円	2,853 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	雇用人材等の安定的な受入・定着に向けた態勢の構築	直接 補助金	・外国人材の定着推進のための支援策や、1日農業バイトアプリ等の短期雇用マッチングシステムの効果的な活用を検討 ・働き手向けの作業解説動画の作成、農業者に対する啓発資料の作成や研修会の開催により、農業の働き方改革を推進 労働環境改善研修会 受講者56名		
2	農福連携の推進	直接	障がい者等の雇用、施設外就労を通じた農福連携の取組を推進し、障がい者雇用の促進を図るため、研修会やマッチングの機会を創出するための農作業体験会等を実施 おためしノウフク53回実施、研修会等を3回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	雇用就農者拡大促進事業		— 千円	— 千円	5,110 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	雇用就農者拡大促進事業	委託	雇用就農者の確保・育成を目指し、農業人材を惹きつける農業経営体づくりを支援するため、労働環境整備、人材確保・育成方法の習得に向けた研修会の開催、課題と解決策をまとめた冊子の作成 研修会受講者6名、冊子配布（1,500部）		